



入場無料

有料
ワークショップ
あり

あしもとの 自然っておもしろい

いるか丘陵の花カンゾウたち

いるかのおなか：網島河川敷（鶴見川流域）

2026年7月27日（月）－31日（金）

午前10:00～午後5:00（27日は午後1時から、最終日は午後3時まで）

ギャラリーかれん 〒222-0037 横浜市港北区大倉山1-11-4

いるか丘陵とは、多摩丘陵から三浦半島へ連なる緑の帯をイルカに見立てた呼称です。2027年花の博覧会も控え、その丘陵群を、忘れられかけていた地元の野草である花カンゾウ（ヤブカンゾウ、ノカンゾウ、ハマカンゾウ）の花の文化でつないでゆきます。

花の輪を広げてゆくのは、鶴見川流域や小網代の森（浦の川流域）で活躍する市民たち。

あしもとの自然の魅力を楽しみに変えて、お披露目していきます。

岸 由二氏：慶應義塾大学名誉教授。進化生態学を専攻
流域思考の提唱者

主催：NPO 法人小網代野外活動調整会議
NPO 法人鶴見川流域ネットワーク

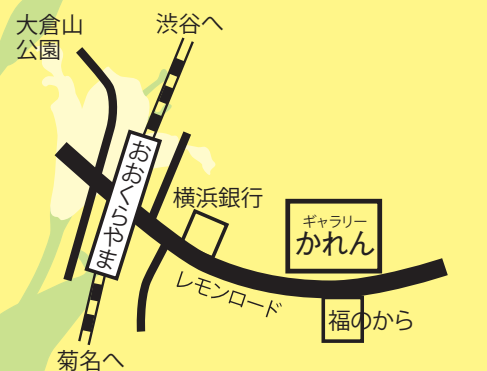
共催：熊野の森もろおかスタイル、OE！ yokohama
連携鶴見川流域ネットワーク

協力：小網代陶房、雑貨カフェ式部、竹芳洞、小木久美子

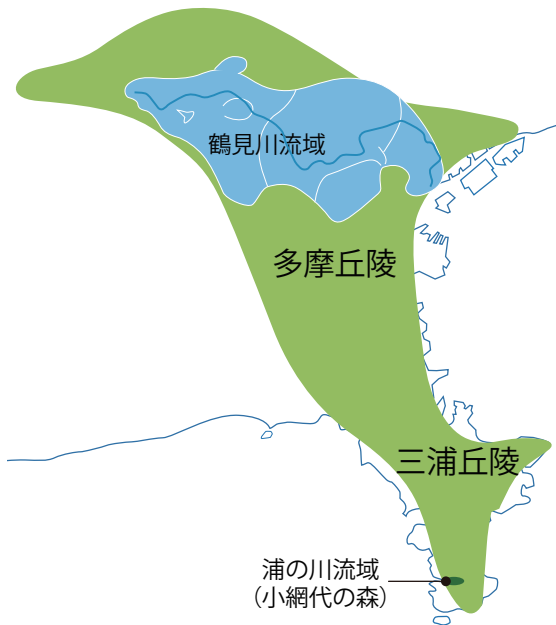
問い合わせ：NPO 法人小網代野外活動調整会議
045-540-8320（事務局亀田）



いるかのしゃぼ：小網代の森（浦の川流域）



東急東横線「大倉山駅」から徒歩2分



あしもとの 自然っておもしろい

いるか丘陵の花カンゾウたち

いるか丘陵とは、多摩丘陵から三浦半島へ連なる緑の帯をイルカに見立てた岸由二先生の作った言葉です。流域や生態系、文化のつながりを意識し、地域を一つの生態・文化圏として捉え、人々と地域との関係を再認識するための「共通の地図」として提唱されています。

2026年7月27日(月) - 31日(金)

午前10:00～午後5:00 (27日は午後1時から、最終日は午後3時まで)
ギャラリーかれん 〒222-0037 横浜市港北区大倉山 1-11-4

27(月) 14:00～16:00 小網代の森に棲むアカテガニを想う



アカテガニ陶芸ワークショップ

陶芸用の下絵の具で、素焼きのアカテガニに色付け体験。
体験時間 15分～1時間。3～5週間後に焼いてご自宅に郵送します。
講師：小網代陶房 参加費：1,500円(送料200円)

小網代陶房の
作品展示販売も
あります！

イベントお申込み



参加希望イベントごとにお申込みください。

28(火)、29(水) 10:30～12:00 全盛期！バリケン島の花カンゾウ



花カンゾウの“エマー”づくり

好きな絵と願い事を書いてみましょう。花カンゾウの詳しい冊子付き。
体験時間 30分程度。時間内にいらしてください。
講師：OE! yokohama 参加費：500円 各回：定員6名

バクの形の
「バクちゃんクッキー」
花カンゾウマフィン販売

大倉山「竹芳洞」さんの
「キスゲ・カワセミ」など
木版画展示販売あり

29(水) 14:00～15:30 定員15名



お話し会：あしもとの自然っておもしろい

私たちのあしもとは「流域」を単位とした固有の大地があり、生きものの賑わいでいっぱいです。いるか丘陵の大地の魅力を知りましょう。
講師：岸 由二 参加費：1,500円(コーヒーと花カンゾウのお菓子付き)

30(木) 10:30～12:00



イルカの缶バッチづくり

いるか丘陵を思いながらオリジナルの缶バッチ作り。体験時間 30分程度。時間内にいらしてください。花カンゾウの詳しい冊子付き。
講師：NPO 法人小網代野外活動調整会議 参加費：500円

30(木)
限定15食

花カンゾウを使った
お弁当

花カンゾウはエディブルフラワー
(食べられるお花)。この時期
だけのスペシャルなお弁当
(要予約) 800円
提供：ランチボックス
受け取り：11:30-12:30

31(金) 出張カフェ 13:00～15:00

小網代の森近く、富士山が見える「雑貨カフェ式部」さんの
スペシャル・ハンドドリップコーヒーはいかがですか？
参加費：600円(コーヒーと花カンゾウのお菓子付き)



お弁当の数、連絡
先を記入してお申込
みください。



売り上げの一部は、いるか丘陵で花カンゾウを広げる活動に役立てます。